

令和8年度江南市放課後子ども総合プラン運営委員会(第1回) 会議録

●開催年月日 令和8年7月30日(木)

●場 所 江南市役所 大会議室(南)

●出席者 出席委員 10名

会 長	富 永 奇 昂
副 会 長	野 沢 卓 也
委 員	石 川 徹
委 員	葛 西 直 示
委 員	木 本 純
委 員	倉 橋 高 宏
委 員	仙 田 隆 志
委 員	高 橋 正 博
委 員	永 田 裕 美 子
委 員	中 村 由 香

欠席委員 2名

委 員	谷 口 郁 子
委 員	星 野 麻 未

事務局職員

健康こども部長	安 達 則 行
子育て支援課長	長 谷 川 崇
子育て支援課副主幹	高 田 昌 治
子育て支援課主任	相 京 か ほ り

傍聴人 1人

議題

- (1) 令和7年度放課後子ども教室推進事業報告について(資料2)
- (2) 令和7年度放課後児童健全育成事業(学童保育)報告について(資料3)
- (3) 令和7年度放課後子ども総合プラン事業報告について(資料4)
- (4) 令和8年度放課後子ども教室申込状況について(資料5)
- (5) 令和8年度放課後児童健全育成事業(学童保育)登録状況について(資料6)

午前10時00分 開 会

1. あいさつ

2. 放課後子ども総合プランの概要について（資料1）

事務局説明

質疑 なし

3. 議題

（1）令和7年度放課後子ども教室推進事業報告について（資料2）

事務局より説明

質疑

会長 九州で地震がありスーパーでガス爆発が起こったりとか、そのときの避難誘導であったりとか、ちょっと前だと学校で音楽の先生が私物の服を乾かしていたところ、火事になって避難誘導があったりとか、最近その避難誘導について印象に残っているところがあります。具体的に子供たちの避難訓練はどのようなことをされたのか何か説明できる部分があったらお願いしたいです。

事務局 避難訓練をする際に、事前のチェックシートなどを用意してまして、例えば室内で危険と思われる箇所がないか、貴重品の持ち出しがすぐに持ち出せるかどうか、あるいは避難経路・避難場所についての危険場所がないかなどを事前に確認しております。その上で、実際に避難訓練を行います。その際には避難行動として、全員が安全で身を守る行動ができたか、児童を整列させて最後尾で避難誘導を実施できたかなど「やれた・やれてない」のチェック項目があり、実際の状況の報告の記入もございます。さらに児童を整列させて落ち着かせることができたか、全員揃っていることを確認できたかどうかということを確認しつつ、最後には、実際やってみての反省点や、「おはしも」が守られているかどうかなどを報告いただきまして次への反省点などを、次回に生かしていけるような形での取り組みを行っております。

会長 いろんな事件や事故が起こる可能性があるので備えていただきたいと思います。

委員 フジッ子教室の月別児童出席状況の表ですが、この登録定員は定員で、平均登録人数は実際に登録されている方でよかったのでしょうか。藤里教室だけ登録定員が56人で、平均登録人数が10人で、出席率が98%、平均で81%となっているんですけど、他の教室は大体定員と登録がほぼ一緒で、50、60%前後の平均参加率なんですね。他教室と比べて、藤里教室だけ違っているのではどんな様子なのかお伺いしたいです。

事務局 藤里教室につきましては、最初の募集時は定員より参加を希望される方の人数が少ない状況でございます。昨年度の実績では10から11人ぐらいの割合で推移しているため、平均登録人数が10.7という形になっています。他の教室は大体定員ぎりぎりまで参加を希望される方が多いので、場合によっては抽選となります。藤里教室の出席率が非常に高い

点でございますが、応募される方はフジッ子教室に参加希望が強いためか月水金の実施されるときには、参加してそのまま帰られるという方が非常に多いのだと思っております。他のところだと、もう少し参加の日数が少なくなっているため、出席率の平均の割合が藤里教室と比べて少なくなっています。他のところの9教室に関しては大体似たような平均の出席率になっているかと思います。

委員 出席率については、回答の通りだと思います。私が正しい訳ではないと思いますが、私が働いている児童館で親御さんに話を聞くと、働いている方が多く、フジッ子教室は17時までに迎えが必要になるが仕事で行けない、という理由で申込みできない家庭のお子さんが児童館によく来ており、迎えに行けない家庭の子ども同士で児童館に遊びに行って、自分たちで帰ってくる方が助かる、と言われていました。データとかはとっていませんが、そんなご家庭もあると思います。

(2) 令和7年度放課後児童健全育成事業（学童保育）報告について（資料3）

事務局より説明

質疑

会長 キャリアアップ研修は5年以上の支援員の方が受講されていますよね。割合としては5年以上の方が多いのか、どんどん新しい方に変わっていくのか支援員全体の割合はわかりますか。

事務局 支援員の入れ替わりという点でいきますと、令和8年4月1日現在になりますが新しく入った方ですと2名、3年未満の方が20名、3年以上の方で5年未満の方ですと11名、5年以上の方ですと53名となります。キャリアアップ研修は、愛知県内すべての市町村の人たちが参加できる研修になりまして、年数に制限を設けないと応募が多くなってしまったため、愛知県から概ね5年以上の方と示されています。キャリアアップという点で、概ね5年経験した方が新たな研修を受けて、スキルをアップさせていくというような研修になってございます。

委員 学童保育もフジッ子教室も定員がありますが、どれぐらいの希望者があって、希望者に対しての充足率というか100%なのか、それとも施設的な面でお断りをしている待機児童がいるのか。それが7年度・8年度どのように変わっていったのかというところを教えてくださいたいと思います。

事務局 学童保育の6月30日現在の待機児童の状況でございます。江南市全体で待機児童は、通年で11名、長期で40名。あわせまして6月30日現在で51名という状況でございます。この時点で待機児童がいないところは、藤里・草井・門弟山・布袋北で、それ以外は待機がある状況でございます。フジッ子は令和8年7月1日現在で、古東・宮田・藤里小学校は待機がゼロで他の7校については待機がある状況でございます。

事務局 学童の待機児童があるところとないところがはっきり分かれておりま

して、藤里・草井などは定員を割り込んでる状況で、施設が充足しているという意味で言えば充足してるという表現ができると思います。しかし、待機が多い布袋・古東・宮田などは希望者に対して施設の方が足りてないという部分もございます。

もう1つ原因があり、施設はありますが支援員が足りなくて待機が出ているところもあります。施設は充足してるんだけど、運営するための支援員が不足、古北の3部屋目が開けてない、古西分室が開けてない。このようなことも原因としてあります。複合的に絡んで待機が発生している状況でございます。

フジッ子教室は、施設ごとに違ってきますけれども、フジッ子教室の方は希望者の方を抽選で入れていく形になってます。学童とフジッ子教室を同時併用で希望する方もいらっしゃいますので、実際のところは希望してる方がいる以上は施設が足りてない、と言えると思います。

委員 長期休暇のときの待機だけでも解消できるような方策は何かないのでしょうか。夏季休業中の受け入れだけでもできないのでしょうか。

事務局 夏季休業中の受け入れは、例えば、布袋小学校は夏休みの間、学校に協力をいただきまして3階の音楽教室をお借りし、夏休みは一時的に受け入れ人数が増えてございます。古知野北小学校では3の部屋が普段使えていない状態ですが、夏休みの期間は支援員等を増やして3の部屋を使える状態し、受け入れ人数が増える状況になります。あと、古知野西小学校では分室があり、夏休みに使うことで、受け入れ人数を増やすような状況になってございます。また、他の学校で待機があるような状態ですと、藤里小学校に余裕がありますので、「藤里小学校で入れますが、ご希望されますか」と案内させていただいて、希望されるのであれば藤里小学校の方で受け入れを行っています。夏休みの対策は以上でございます。

委員 朝の学童っていう話が去年ぐらいいったかと思いますが、平日、共働きのため早くお子さんを預けたいということで、学校に先生がいるから預けられないのか、みたいな話を結構聞きます。学校の先生方の勤務時間というのは、8時半とかそのぐらいいってくるため、一概にお子さんを学童のように預かることはできないということでお答えをしています。もし、実施するのであれば、市として実施していく必要があると思うのですが、そういった取り組みや、今後実施するのであれば、課題は支援員とか、時間とか、支援員の勤務時間帯などが考えられると思います。もし、実施するとなると「利用者がいるか」というのもよく分からない状況なので、実施するかどうかは別として、そういった調査や検討は今までされているのでしょうか。

事務局 朝の学童を実施したらどうかについては、議会でも1回質問が出たことがございます。江南市の場合、土曜日と夏休みは7時半から受け入れておりますが、平日は学校下校時からになりますので、そういったことを実施しておりません。近隣市と比較しますと、7時半からやっている学童は、勤務として遅いわけではなく、むしろ早いぐらいいなってます。

実際、朝学童を実施している市に聞いてみますと、大体シルバーさんや会計年度任用職員を雇って、校庭を開放して見守りしている事例がほとんどで、朝学童として実際やってるところは、ほとんど見かけませんでした。実際、朝学童を実施となると、支援員の確保、今でも足りなくて開けてない状況ですので、例えば7時から学校の30分間だけ学童を開室することは、正直なところ現実的には難しいとお答えしている状況でございます。今後どうするのかとなりますと、この答えがいいか分かりませんが、実際にどのぐらい必要とされてるか、をもっと聞き取っていく必要があると思います。なお、実際に実施している市に聞くと、1日あたりの利用者は3人来るかどうか、というところでございました。

会長 朝の学童もですが、支援員不足って結構前に具体的にこういう問題があるのではと議論した記憶もあります。何か具体的な対策は、ないから進んでないかもしれないですね。その人手不足解消については、どうしていますか。

事務局 おっしゃる通りでございまして、実際の支援員の確保に関してはずっと課題でございまして、こちらも苦慮してるところです。新しい取り組みとしては、今年度ネット広告を出しました。結構反応はありまして、20人ぐらい応募をいただきました。以前よりは本当にすごくたくさん応募いただけるようになりました。それが実際に支援員さんとして長く勤めていただけるかどうかは課題でございまして、それはもちろん進めていきたいと思っております。どうして応募してもらえないのか、ということを知ると勤務時間の問題で下校時から夜7時までという時間帯ということ、後は収入の問題もあると思いますが、様々な問題が絡み合っていますので、ひとつこの政策をやれば支援員がどんどん来るということはなかなか難しく、やれることを少しずつでもやって、今年は少なくとも、夏休みだけですけれども、支援員の確保が去年よりはできた、ということをご報告できると思います。

委員 スーパーなどにいっぱい老人がたくさんおります。そういう方たちの老人パワーを同時に使えるような機会があればと思っています。老人クラブには先生方のOBがたくさんいるんですよ。そういう人たちは何やってるかという、自主的にボランティアでいろんな子どもを指導しています。それ以外にもいろんな方々がおりますので、そういう人たち向けに、組織的に1度啓発を行い、学童とかで力を活かしてもらえないかと考えています。勤務時間が夕方7時までなので働きにくさはあるかと思いますが、人材はいると思っています。そういうことからぜひ、少しでも老人の生きがいづくりになるのであれば協力したいとは思っております。

もう1つお話しがあります。私は民生児童委員も兼ねておりますので、この前小学校中学校との打合せ会を行ったときに、現在江南市は不登校児童がたくさんいて、中学校も多いと思うんですけど、小学校から不登校の児童がたくさんおられるんですね。その子が不登校ということは、学童にもフジッ子教室にも両方とも入ってないですよ。全く学校に何年間も行かない状態で小学校卒業して、中学校卒業して、そのまま社会

に出てしまう。このような状態で社会に出たときに、社会生活の基本を学んでない状態になります。何かそういう支援がこういう子供たちの放課後の関係とかいろんな制度があるんだから、学校にも行ってない子にも何か行けるような機会ができればいいかな、と思っております。

事務局 市老連の方に、もし支援員の募集をかけることを許していただけるのであれば、支援員にたくさん来ていただきたいので、手続きがあるのであれば教えてください。

委員 募集をすることは可能です。老人クラブも大いに自分たちのキャリアを生かした社会貢献を積極的にやっていこうと思っております。活性化委員会の中でもそういう話が結構出ております。ところで、資格は要りますか。

事務局 学童保育で働いていただくのは支援員という資格を持った方と、補助員という資格が必要ない方がおり、補助員としてまず働いてもらって、その後に資格を得るための研修を受けていただくと支援員の資格は取れます。なので、いったん学童の補助員をやってみませんか、という募集をさせていただければと思います。

委員 そういうものをいただければ、私どもの会議にかけて、募集していきたいと思います。高齢者は人口の 27～28%でいっぱいおりますので。それで老人クラブの 1つの事業として実施できるのであれば、大いに協力してやっていきたいと思っております。

事務局 後程またご相談させてください。

会長 僕の周りでも 80 代 90 代でもむちゃくちゃ元気な方いっぱいいるので、そういう方が是非とも頑張っていたけるといいですね。

事務局 地域で、例えば自分のお孫さんがいるおじいさん・おばあさんと触れ合いがとれるとか、いろんなご高齢の方でもそういう実体験のある方がいらっしゃいます。学童はお子さんが多数いる場所になりますので、1 度、安全安心の学童がどういう形でやっているかをご覧くださいながら、ご協力をいただけたところは、お願いをしていきたいと思います。

委員 力のある方は一番たくさんいらっしゃると思う。人材を確保しつつも、質も必要とされます。高齢の方の質が悪いとかではなくて、バランスが必要になると思います。

事務局 地域で子どもを子育てするというのが、共働き世帯が増えてきている中で必要な視点であると理解しています。ご意見いただいたように、現場でもやはりいろんな事情や問題などもあります。そういったことも現場を見ていただきながら、学童にお越しいただける方に関しては、組織として老人クラブさんが前向きに検討いただけるのであれば、対応は可能と思っております。

委員 市内小学校の教頭先生をやっていた方が親族にいまして、市内中学校の不登校の子どもを担当していまして、80歳を超えて、最近、辞めました。その方は育った環境とか色々な苦勞をされているので、そんなことをいろいろ学校に来れない子にお話していまして。学業面の指導はできなかったんですけど、人生のいろんな話をされていまして。辞められた時には、担当していた子が大人になって会いに来てくれたそうです。なので老人クラブも非常にいいと思うんですよね。このような人材がいらっしゃると思います。僕もお習字の方で、校長先生をしていた方が退職してから暇になったので、習字ぐらい行こうかなと思われ、今来てみえる。いろんな地域で、一生懸命地域のことをやってみえる方です。ぜひ、そういうパワーがありましたら、来ていただいて、学校へどうしても行けない子の支援とか、今、学童の支援員の採用関係が大変だという話がありましたので、ぜひ来ていただくと良いと思います。

もう1つは、僕は市内小学校にそろばんのボランティアに行っています。そろばんは算数の中の教科になるので行っているのですが、算数というのは難しいですね、できる子とできない子の差がすごくあります。その学校では、「地域の方のボランティア」というかたちでクラスに2人ぐらい来てみえたと思うんですが、発達障害まではいかない子どもの面倒を見ていただいたり、非常に助かることを小学校ではやってみえました。そういうのは資格が必要ですが、ちょっとだけ見守っていただけるそういう方がみえたら、各小学校でもやっていただくと本当にいいと思います。僕も地域の6校ぐらい学校の方へそろばんの指導に行き、2時間程度やっております。実は昨日も草井小学校のフジッ子教室から声がかかりまして、いい機会をいただきましたのでやってきました。1年生から6年生までの学年の違った子がたくさんいますので、そこでそろばんの授業をやるので、どこを焦点に置くかが非常に難しい。簡単な問題からやっていき、僕がいつも3年生でやってるパソコンから数字が出るフラッシュ暗算とかをみんなでやったりしました。職員で1人現場を見られた方がいますので、ぜひどんな感じであったということをね、また聞いていただければと思います。僕も江南市で団体に入っていて、そういう活動をやっておりますので、老人クラブも何かそういう学校支援の事業などを立ち上げていただくと良いと思います。

会長 地域財産を活用できるという前向きな意見なので、そういう部分をしっかりチェックして、取り入れる部分・活用できる部分は前向きに進めていただけるととても良いと思いますのでよろしくお願いします。

委員 前回も少し話したんですけど、学童もフジッ子教室も様々な問題が現場にはあると思うので、職員の方がもう少し現場に入り込んでいただけたらな、と思います。

(3) 令和7年度放課後子ども総合プラン事業報告について（資料4）

事務局より説明

質疑なし

(4) 令和8年度放課後子ども教室申込状況について(資料5)

事務局より説明

質疑

委員 待機が7校あることについて、例えば、登録してもほとんど来ない子が多分あると思います。中には理由があって行けていない子もいるかもしれませんが、ほとんど来ない子に対して参加の促しとか、そういった取り組み等があったら教えてください。

事務局 令和8年度から申込みのときに、2週に1回は参加してくださいとして、募集をかけております。2週に1回は参加いただいております、もし実際お見えになっていない場合は、連絡させていただいて、もし登録を続けるのであれば参加をお願いします、そうでない場合は退室届の案内をしております。

(5) 令和8年度放課後児童健全育成事業(学童保育)登録状況について(資料6)

事務局より説明

質疑 なし

4. その他

①夏休み期間中の体育館遊びについて

質疑

委員 会議に来る前に本校の体育館を見てきました。子供たちが汗びっしょりになりながら遊んでいまして、気づいた子が声かけてくれて、楽しそうに遊んでいる様子を報告してくれました。古知野南小学校は運動場が工事していることもあって、実は学校の教育活動の間に長い休み時間に体育館を同じように開放するというのを本年度やっています。そこで心配するのが、体育館の面積よりも来る子どもの数が多いので、怪我をしそうで危ないなと思っておりまして、そこを気をつけながら本校の先生方にも見ておいてね、という話をしています。この体育館遊びについても人数が多ければ多いほど危険が出てくるので、また次年度以降、好評になればなるほどだと思うんですけども、その辺りも気をつけて検討いただけるといいかなと思います。

事務局 今年度、体育館遊びを実施しまして、色々な課題は当然でてくると思いますので、案の一つとして学年を分けるとか、そういう方法を考えられると思います。学校の先生はもちろんですが、支援員たちとそういうことを含めて相談していきたいと思っています。体育館を貸していただけることを子ども達は本当に喜んでおりますので、ありがとうございます。

②放課後児童健全育成事業(学童保育)の手数料の改正について

質疑

委員 学童保育の手数料の値上げの件についてはこれでいいと思います。フ

ジッ子教室は今日の説明を聞いて、研修もしっかりされている学童と同様の安全管理員もしっかりいらっしゃる中で、利用料の負担がないじゃないですか。この事業をやるにあたって、コーディネーター・安全管理員・学習アドバイザーの方に指導を行っていることを考えると、受益者負担あってもいいんじゃないかなと思いますが、その辺は検討されたことはありますか。また、他市町でもこういった放課後子ども教室は実施されていると思いますが、無料なのか、利用料をとっているのかは、分かりますか。

事務局 フジッ子教室、いわゆる放課後子ども教室は自治体によってやり方は様々でございます。学童保育と違いまして、特に決まりがあるわけではございません。江南市は手厚くやってる方でございまして、月水金の下校から17時までです。他市では、極端なこと言えば月に1回か2回で1時間か2時間だけのところもありますし、様々でございます。お金を取ってる・取ってないも様々で、本当に平均というのはなかなか出しづらい状況です。委員がおっしゃるように、学童保育とフジッ子というのは、放課後の子どもが帰るところという意味では、やってること自体似通ってる部分がございます。最初の事業の説明の中で出てきたように、学童保育はあくまで厚生労働省の管轄で就労支援、放課後子ども教室いわゆるフジッ子教室は放課後の子どもの居場所で趣旨が違う形になっております。将来的な統合は、以前から問題になっていますが、先ほど申し上げた趣旨が違うということがありまして、なかなかその話が進んでないのが現状でございます。有料化も1つの課題になっていまして、今は無料ですが、利用者から利用料をいただくことを始めると、人的なコスト、システム的なコストもあり、今検討してるところでございます。

委員 教育課でも、中学校の部活動で2学期から運動部活動が地域展開していくという問題があり、その中でも、外部講師を雇うとか保険料代の問題とかいろいろ予算が絡んでくるところがありまして、地域クラブ活動に参加される生徒については、参加料をいただいていく予定をしております。保険代については自治体の方で負担するというような話があります。8年度の参加料は一律500円という設定をしていますが、部活動によっては今後変わってくることも議論をしている最中なので、やはり授業をしていくということを考えると、人件費がかかっていることを踏まえると、フジッ子教室も利用者の受益者負担があっても良いのではないかと感じます。料金設定については、無料からいきなり何千円は難しいと思うので、0円よりは取った方が良いと感ずるので、是非とも今後検討していただければと感じます。

③夏休みのお弁当の試行実施 質疑なし

④全体について

委員 いろいろお話を聞かしていただいて、子どもたちが元気に過ごしてる様子が伝わってきました。土曜日が学童保育で学区によって合同になっ

と思いますが、現状と何か問題点といいますか、もし何かありましたら教えていただけたらと思います。

事務局 土曜日については、昨年、ご説明させてもらいましたが、今年度から土曜日は統合させていただきまして10ヶ所で開室ところを、今は5ヶ所で開室させていただいております。土曜日は利用者が少なく、利用率が10%切っているような状況でございますので、2つを統合しても特に支援員としては人数が20人を超えることはございませんので、問題なく今のところ運用しております。統合された方は今まで勤務しているところとは違うところに勤める形になりますので、最初のころは戸惑いがあったみたいです。4月から大分経ちますので、支援員の皆さんが1度は勤務しており、あと先ほど申し上げたように土曜日はお子様の利用人数が少ないですので、子どもの顔も大分わかってきたということは聞いております。保護者からも「何で土曜日私がこっち行かなくちゃいけないんだ」とかそういう苦情も私たちの方には入っておりませんし、支援員さんにも聞きましたところ、特にそういうトラブルはないと聞いております。そのような状況ですので、今のところは順調に進んでいると思います。何かお困りごとなどを聞かれましたら、子育て支援課に教えていただけるとありがたいです。以上でございます。

午前11時40分 閉会